



町民の憩いの場・森の健康館



多目的活動センター『さんさん館』



地域医療の拠点である津別病院

### 【総務費】

- ・庁舎等維持管理経費 3,333万円  
庁舎増築工事及び多目的トイレの設置に係る経費
- ・森の健康館管理業務 2,629万円  
森の健康館の管理運営、網戸改修及び露天風呂外壁補修工事などに係る経費
- ・多目的活動センター管理運営経費 1,580万円  
多目的活動センターの管理運営などに係る経費

### 【民生費】

- ・子ども手当等扶助費 7,148万円  
子ども手当扶助費（0歳児から中学生分まで）515人分
- ・保育所運営経費 6,286万円  
委託料（特別支援及び臨時保育士の労働条件改善に伴う増）

### 【衛生費】

- ・地域医療維持助成 7,000万円  
住民の健康を守る地域医療を維持確保するため津別病院に助成
- ・ごみ焼却施設管理経費 3,606万円  
一般廃棄物広域処理事業負担金の増
- ・一般廃棄物最終処分場管理経費 4,155万円  
エゾシカ処分経費に係る施設管理業務及び水処理棟設備更新工事等の増

## 平成24年度の主な事業をお知らせします

### 【農林業費】

- ・鳥獣被害防止総合対策事業 9,210万円  
鹿侵入防止柵設置工事（L=20km）などに係る経費
- ・町有林整備事業 6,838万円  
施業計画に基づく事業の実施に係る経費

### 【土木費】

- ・まちなか団地建設整備事業 2億595万円  
まちなか団地買取事業（Ⅱ工区）10戸、まちなか団地第Ⅱ工区外構工事、町営住宅解体工事などに係る経費
- ・町道整備事業 6,699万円  
町道131号線改良舗装工事などに係る経費

### 【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 1,380万円  
現行の津別高校振興対策（バス通学費、校納金、教科書等の助成など）の拡充として基礎学習経費を加える
- ・中央公民館施設整備事業 2,061万円  
機構改革に伴い事務室工事設計及び改修工事に係る経費
- ・小学校施設整備事業 2,438万円  
活汲小耐震改修工事、教員住宅浴室等改修工事などに係る経費
- ・中学校施設整備事業 3,121万円  
活汲中学校舎及び体育館耐震工事に係る経費



愛林のまちの木材資源



津別高校振興対策費を拡充



改修工事が行われる中央公民館

## 町政方針

# 美しくて美味しい町に・・・2年目

（抜粋）

3月7日から始まった定例町議会において、平成24年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介します（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

### 第5次総合計画に基づき 着実に事業を推進

昨年を振り返りますと、本町の基幹産業である農業は、小麦、甜菜、馬鈴薯の3品目が収量減と糖度不足などにより必ずしも良い出来ではなかったものの、玉葱の高騰により販売高は前年を上回ったところがあります。

林業においては、合板が災害復興需要や全国的に堅調な住宅着工及びマンションの仕上げ需要が好調に推移したことからフル生産体制となり、梱包材、パレットにおいても引き続き荷動きは良好ですが、経木につきましては、は外食産業の落ち込みが続く中、リーマンショック以前の水準に戻っていない状況にあります。

建設土木業につきましては、各種交付金制度を活用した建築工事を中心とする公共事業の推進により、一昨年に引き続き町内経済に一定の効果をもたら

らすことができました。

昨年の東日本大震災は、戦後日本が培ってきた価値観を一変させる出来事であり、今後の政治、経済、文化、思想に与える影響は大きなものがあると感じていることですが、本町におきましては第5次総合計画に基づき着実に事業を進めて参ります。

### 公約の推進

① 中心市街地の活性化につきましては、昨年4月の多目的活動センター「さんさん館」のオープンにより、七夕まつり、産業まつりなど年間を通して様々なイベントが誕生し、町に賑わいを創出してきたところです。本年度におきましても「まちづくりセンター運営協議会」をはじめ、基幹産業に関わる団体や町おこしグループの協力を得ながら、これらの取り組みを進展させ、中心市街地の活性化と地場産品のPRと販売に向けた取り組みを進めて参ります。

② 廃屋対策につきましては、すでに中心市街地（半径500m内）の廃屋の調査は終えたところであり、今後環境基本計画等の策定に合わせ実施に向けた検討を進めて参ります。

③ 当地グルメの開発につきましては、有機牛肉と津別産野菜を組み合わせた商品開発や、津別産の小麦を原料にしたブランド麵「つべつめんこいひと」を使用したラーメンなど、自主的な取り組みに対し必要な支援を行って参ります。

④ こども園と子育て支援センターの併用施設の建設につきましては、各種懇談会においてその必要性を理解いただいているところですが、関係者との協議にいま少し時間を要することから、建設用地の測量及び土地取得等にかかる費用につきましては、当初予算ではなく補正予算にて措置する考えであります。

⑤ 観光事業の充実につきましては、道内で二番目の森林セラピー基地の認定を受けた後、ガイド組織である「NPO法人森のこだま」が結成されましたことから、今後道内外の方々に充実した対応を行えることを大いに期待し必要な支援を行って参ります。

⑥ 事務事業の民間委託等の推進につきましては、町営バス開成線を本年10月から民間事業者への運行移譲に向けた協議を進めるとともに、相生線上里線につきましては町営バス路線を廃止し、10月から新たな形態での運行開始に向け取り組みを進めて参ります。

特別養護老人ホームいちいの園等の民間移譲につきましては、移譲先の

選定を含め具体的な取り組みを進めて参ります。

⑦ 今後の町政運営に反映させることを目的として、昨年度実施しました住民満足度定点点調査につきましては、対象者1589名に対し579名の回答を得、町政に対する貴重な意見をいただいたところです。近く公表できるよう結果報告書を作成中であり、あります。

⑧ 議会のインターネット中継につきましては、議会側のご理解とご判断のもと、早期に実現できることを望み期待するものであります。

### 人づくり・まちづくり 活動支援事業の推進

人づくりの推進につきましては、第5次総合計画にあります「計画の基本・担い手のいる計画」を進めていく上で、地域リーダーや団体の育成が重要であることから、昨年より実施しております「人づくり・まちづくり活動支援事業」の推進を図り、より一層の充実強化に取り組んで参ります。

### 引き続き行政改革を積極的に推進

平成22年4月策定の「津別町新行政改革大綱推進計画」は、本年度前期5年計画の3年目を迎えますが、引き続き事務事業の民間委託等の推進など55項目のアクションプランの検証を行い、行政改革を積極的に進めて参ります。